



例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ソング「それでこそロータリー」斉唱
3. ゲスト・ビジターの紹介
4. 食事と交歓
5. 会長の時間
6. 出席報告. 例会運営委員会
ニコボックス発表 親睦委員会
7. 委員会報告、幹事報告
8. 卓話 中津川市サッカー協会 糸魚川淳会長 子育て安心・広報委員会
9. 閉会点鐘

会長の時間



2019-2020年
第62期 中津川ロータリークラブ

会長 **吉川 義康**

『建設業はICT導入に本気!』

昨今の建設業を取り巻く話題についてお話しします。
令和元年度国土交通白書において、これからの建設業を次のように記述している。『これからの時代は、人口知能(AI)、IoT等のデジタル技術による社会経済の生産性や利便性の向上などが進展し、……。今後の国土交通政策は、国民の安全・安心の確保や持続的な経済成長を支える強靱なインフラ整備等を基礎としつつ、「技術の進歩」や「日本人の感性(美意識)」を踏まえた上で、新しい時代の要請に応え、国民生活の向上を図るものとして展開していく必要がある。』

この内容通りに国土交通省が2016年度にICTを使って建設業界に生産性向上を図る取り組み「i-Construction」(ICT土工)を始めてから3年が経過

友愛の席



恵那饅頭
味わい深い素朴な餡の甘味
酒蒸し饅頭です。

二葉軒

卓話者紹介



中津川市サッカー協会

いといがわ じゅん
会長 **糸魚川 淳**様

卓話演題

「サッカーワークショップ2019のお礼と想い」
プロフィール

- 1954年 中津川市生まれ
- 71年 中津高等学校サッカー部選手
- 74年 中津クラブ選手
- 86年 1級建築士事務所アトリエJ設立
- 87年 中津サッカースポーツ少年団監督
- 93年 中津川ルビーズサッカークラブ監督
- 98年 中津川市サッカー協会理事長
- 2015年 中津川市サッカー協会会長
- 元日本サッカー協会C級コーチ
- 元日本サッカー協会3級審判員
- 1級建築士
- 1級建築施工管理技士
- インテリアプランナー
- 日本デザイン学会会員

した。このICT土工とは、建設業の担い手が少ないことから、建設工事の無人化施工を目標に研究開発が進められたものである。その後、国土交通省の多くの発注工事にICT土工が採用されたため、建設業界も国土交通省とともにICT土工の採用に踏み入れた。しかしながら、まだICT土工が完璧に施工可能であるケースが少なく、堰堤工事、道路工事の一部など空間が広くとれる作業環境であること並びに岩盤でない地盤しか施工できないことが多いのも事実である。しかも、全てのICT土工で労働者数、施工日数、コストに対して必ずしも目標通り低減できているわけでもなく、これからも多くのケースで活躍できるための研究開発が必要である。国土交通省の方針に基づいて、ドローン、GPS、AI等を駆使し、建設工事の無人化に挑戦しているのが現状である。